

## 「人生のやる気デザイン」研究部会（第30回）

日時：2022年12月26日（月）13：00～16：00

場所：オンライン

出席：渡辺弥生・榎本淳子・倉住友恵・杉本希映・中井大介・中谷素之・各兼任研究員  
山口和人所長・金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

欠席：吉久知延

内容：（1）中井研究員報告：『自己拡張』によるワクワクと『親密な関係』にフォーカスした研究（その3）として、以下の論文を紹介

◆Burris, C.T., Rempel, J.K., Munteanu, A.R., & Therrien, P.A. (2013). More, more more: The dark side of self-expansion motivation. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 39, 578-595. doi:10.1177/0146167213479134

・論文の概要)

他人の幸福を顧みない自己拡張は、動機づけのダークサイドを表している可能性がある。本研究では「アメーバ自己理論」(Amoebic Self-Theory)に基づき、ASTの3つの自己領域にわたる獲得傾向を測定するために、Engulfing Self Scale (ESS)を開発した。(以下略)

（2）榎本研究員報告：大テーマは「成人先天性心疾患患者の病みの軌跡」。今回は「アイデンティティを形成するもの」として、以下の論文を紹介

◆McLean, K. C., & Syed, M. (2016). Personal, master, and alternative narratives: An integrative framework for understanding identity development in context. 58(6), 318 - 349. *Human Development*  
<https://doi.org/10.1159/000445817>

パーソナル、マスター、オルタナティブ・ナラティブ：文脈の中でアイデンティティの発達を理解するための総合的な枠組み

（3）渡辺研究員報告

①やる気を出す授業のために、SELの理論を発揮されている授業とは何かを考える。SELは道徳の時間などに導入するよりも、むしろ数学・理科の授業に活用したほうがいいのかはとの考察

〈紹介論文〉What is the Role of Motivation in Social and Emotional Learning 社会的・情緒的学習における動機づけの役割とは？（コロラド大学 Getty, S.R. マディソン大学 Barron, K.E. /バージニア大学 Hulleman, C.S.）

②やる気を与える SST 授業の「学習指導案」（病弱部門高等部第2学年）を紹介